

# ペイントをもっと使おう

---

「ペイント」は、Windows に標準添付の絵を描くソフトです。Windows 発売当初は、「ペイントブラシ」という名前でしたが、最初から付いていたためか最近では市販の解説書が見当たりません。

平成 12 年から始まった「IT 講習」の中で「ペイント」を使った自治体があったように「使い方も簡単」なのですが、これがなかなかの優れたものです。

ということで、このテキストも Windows の機能+Microsoft Word+ペイントで作成しました。ここでは、テキスト作成に使用した機能を中心に、ペイントの使い方を紹介します。いつか必ず役に立つことでしょう。

ペイントは、OS のバージョンおよび Microsoft Office がインストールされているか否かで扱えるファイルの種類が変わります。このテキストは、WindowsXP で、Microsoft Office XP Professional がインストールされている環境で作成しました。

## 目次

■ 起動時のウィンドウ.....	2
◆ キャンバス.....	2
◆ ツール ボックス.....	2
◆ 選択ボックス.....	3
◆ カラー ボックス.....	3
◆ リサイズ ハンドル.....	3
◆ ステータス バー.....	3
■ ツール バーの機能.....	3
■ メニュー バーの機能.....	6
◆ 拡大する.....	7
◆ ドット単位の縦横ます目を表示する.....	7
◆ 実寸表示.....	7
◆ 反転または回転させる.....	7
◆ 縮小または変形させる.....	7
◆ 色を反転させる.....	8
◆ キャンバスの大きさを変える.....	8
◆ キャンバスをクリアする.....	8
◆ 色を作る.....	8
■ 具体例.....	9
◆ デスクトップのアイコンを切り出す.....	9
◆ 一筆書き.....	10

## ■ 起動時のウィンドウ

ペイントを起動すると、次のような画面になります。



### ◆ キャンバス

絵を描く場所＝画用紙に相当する場所です。

画像はキャンバスの大きさで保存されます。画像が小さくても、キャンバスが大きいと、(白色が多い)「大きなファイル」となります。

画像が大きいのに、キャンバスを小さくすると、切り取られます(トリミング)。これは大きな画用紙に絵を描いて、鋏で切ったことになります。

キャンバスの大きさを変えるには、次の方法があります。

- メニューバーの[変形]→[キャンバスの色とサイズ]をクリック
- リサイズ ハンドル をドラッグする

キャンバスの大きさがウィンドウより大きくなると、スクロール バーが表示されます。

### ◆ ツール ボックス

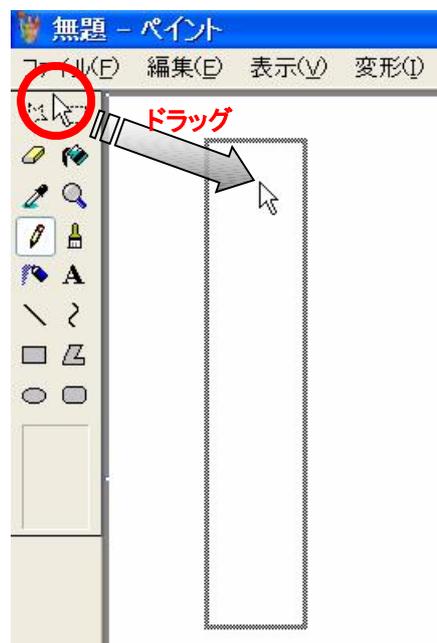
絵を描く時に「よく使う道具」が入っている場所です。

箱ボタン上部をドラッグすると、他の場所に移動できます。移動したら元に戻してみてください。キャンバスが大きい時、「もうちょっと画面が大きいと全体が見えるのだが...」等という場合に使えます。

ツールボックスは、

- メニューバーの[表示]→[ツールボックス]

で、表示/非表示を切り替えられます。



## ◆ 選択ボックス

選択したツールの詳細を指定する場所で、ツールボックスの下に表示されます。

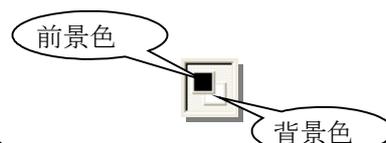
例えば、ツールボックスの[消しゴム]を選択すると、消しゴムの大きさを変えることができます。(右図)



## ◆ カラー ボックス

色の指定を行う場所です。ここでは、前景色または背景色を指定します。カラー ボックスの上部または下部をドラッグすると、ツールボックスと同じように他の場所に移動できます。

- 左端には、現在の「前景色」と「背景色」が表示されます。(右図)
- 前景色を変えるには、色をクリックします。
- 背景色を変えるには、色を右クリックします。
- 前景色は、線、図形の輪郭線、および文字に使われる色です。
- 背景色は、閉じた図形の内側とテキスト枠の背景に、および消しゴムを使用するとき等に使われます。
- 通常は、マウスの



左ボタンを使うと前景色、  
右ボタンを使うと背景色

が使われます。

カラーボックスは、

- メニューバーの[表示]→[カラーボックス]で、表示/非表示を切り替えられます。

## ◆ リサイズ ハンドル

キャンバスの大きさを変える時に使用します。

リサイズ ハンドルをポイントすると、**両矢印付きポインタ**に変わります。

この時、矢印の方向にドラッグすると、キャンバスの大きさを変えることができます。

キャンバスを小さくすると画像が切れます。再び大きくしても、切れた画像は戻りません。

## ◆ ステータス バー

現在の状況、マウスポインタの位置、選択した時の大きさ等が表示されます。

## ■ ツール バーの機能

まず、ツールボタンをクリックしてから行ないます。

### (1) [自由選択]

キャンバスをドラッグして得られる閉曲線内を選択します（見かけ上は、四角形で選択されます）。選択部分を

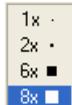
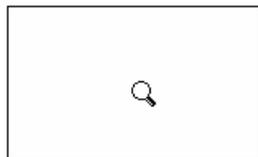
ü ドラッグすると「移動」

ü [Ctrl]+ドラッグすると「複写」

ü (背景色を透明にして) [Shift]+ドラッグすると、軌跡を描きます。この時、背景色は選択ボックスで変わります。

	背景色がそのまま残ります。
	背景色が透明になります。

なお、移動で切り取られた部分は、背景色になります。

- (2)  [選択]  
 キャンバスを斜めにドラッグして得られる四角形内を選択します。それ以外の機能は[自由選択]と同じです。  
 (「全て選択」は[Ctrl]+[A]です。知り得です。)
- (3)  [消しゴム/カラー消しゴム]  
 消しゴムの大きさは、選択ボックスで変更されます。  
 キャンバスをドラッグすると、背景色で塗りつぶされます。  
 右ボタンでドラッグすると、前景色の部分を背景色に置き換えます。
- (4)  [塗りつぶし]  
 キャンバスをクリックすると、連続した「クリックした場所と同じ色」を前景色で塗りつぶします。右クリックすると、背景色で塗りつぶします。
- (5)  [色の選択]  
 ボタンをクリックし、キャンバスをクリックすると、クリックした場所の色が前景色になります。  
 右クリックすると背景色になります。  
 キャンバスをクリックまたは右クリックすると、[色の選択]ボタンは無効になり、[色の選択]をクリックする前の設定に戻ります。したがって、前景色/背景色を連続して設定（クリックして、直ぐ右クリック）することはできません。
- (6)  [拡大と縮小]  
 ①まずボタンをクリックし、選択ボックスの倍率（右図）を選択します。この時、キャンバスも拡大されます。  
 ②元に戻す（1倍）にするには、[拡大と縮小]ボタンをクリックし、選択ボックスの“1x”をクリックします。  
 ③拡大の中心を指定する時は、  
 [拡大と縮小]ボタンをクリックし、  
 拡大したい場所をポイントします。  
 拡大する範囲が表示されます（右図）ので、  
 クリックします。  
 以後、②→③を繰り返します。  
 ü 倍率を変える時は①を行いません。  
 ü ②は、[Ctrl]+[PageUP]で代用できます。  
 ü [Ctrl]+[PageDown]で、4倍に拡大できます。  
 ü [表示]メニュー⇒[拡大]⇒[拡大率の指定]でも行なえます。
- 
- 
- (7)  [鉛筆]  
 キャンバスをドラッグしている間、前景色で描画します。右ドラッグすると、背景色で描画します。
- (8)  [ブラシ]  
 キャンバスをドラッグしている間、選択ボックスの形状で、前景色で描画します。右ドラッグすると、背景色で描画します。
- (9)  [エアブラシ]  
 キャンバスをクリックすると、選択ボックスの形状で、前景色で噴霧します。右クリックすると、背景色で噴霧します。
- (10)  [テキスト]  
 文字を入力します。  
 ①[テキスト]ボタンをクリックします。  
 ②文字を入力するキャンバスの場所を斜めにドラッグします。

→パレット内が表示されます。この時、矩形内は選択ボックスで指定された背景色で塗りつぶされます。

- ③フォントやフォントサイズ等を指定する時は、書式バーを表示します。  
（[表示]メニュー→[書式バー]をクリック または、パレット内を右クリック→[書式バー]をクリック）



- ④パレット内に文字を入力します。文字は前景色になります。

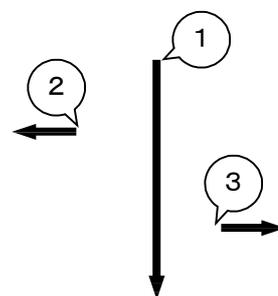
(11)  [直線]

キャンバスをドラッグすると前景色で直線を引きます。右ドラッグすると背景色で引きます。[Shift]+ドラッグすると、水平または垂直または45度の線を引きます。

線の太さは、選択ボックスで指定します。

(12)  [曲線]

- ① まずキャンバスをドラッグして直線を引きます。
- ② 次に直線の横（左側）をドラッグすると曲線になります。
- ③ 更に、反対側（右側）をドラッグしてS字曲線を描くことができます。



ドラッグで前景色、右ドラッグで背景色になります。

線の太さは、選択ボックスで指定します。

弓形で終わりたい時は、終わった場所をクリックします。または、別のツールボックスのボタンを選択します。

（3点をクリックすると、水滴のような図が描けました）

(13)  [四角形]

キャンバスを斜めにドラッグすると前景色で四角形を描きます。正方形を描く時は、[Shift]+ドラッグします。

線の太さは、[直線]ツールで事前に行なっておきます。

選択ボックスの2番目を選択すると、四角形の中を背景色で塗りつぶします。3番目を選択すると、前景色で塗りつぶします。

右ドラッグすると、前景色と背景色が逆になります。

(14)  [多角形]

まずキャンバスをドラッグして直線を引きます。次の交点を、次々クリックします。最後の点をダブルクリックすると、自動的に閉じられます。

選択ボックスの使い方は、四角形と同じです。マウスの右ボタンを使うと、前景色と背景色が逆になります。

(15)  [楕円]

使い方は四角形と同じです。円を描く時は、[Shift]+ドラッグします。

(16)  [角丸四角形]

使い方は四角形と同じです。

## ■メニュー バーの機能

メニュー バーとそのサブメニューは、次のとおりです。

ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	変形(I)	色(C)	ヘルプ(H)	編集(E)	表示(V)	変形(I)	色(C)
新規(N)						元に戻す(U)			
開く(O)...						繰り返す(R)			
上書き保存(S)						切り取り(T)			
名前を付けて保存(A)...						コピー(C)			
カメラまたはスキャナから取り込み(O)...						貼り付け(P)			
印刷プレビュー(V)						選択範囲のクリア(L)			
ページ設定(U)...						すべて選択(A)			
印刷(P)...						ファイルへコピー(O)...			
送信(E)...						ファイルから貼り付け(E)...			
背景に設定 (並べて表示)(B)									
背景に設定 (中央に表示)(K)									
1 D:\user\...\年賀イラスト\松_賀正01.gif									
2 D:\user\OH!PQR\テキスト\潮騒\無題.bmp									
3 D:\user\...\テキスト\潮騒\潮騒タイトル.bmp									
4 D:\user\Ekiden\駆伝A.bmp									
ペイントの終了(X)									

表示(V)	変形(I)	色(C)	ヘルプ(H)
✓ ツール ボックス(T)			
✓ カラー ボックス(O)			
✓ ステータス バー(S)			
書式バー(E)			
拡大(Z)			
ビットマップ表示(V)			
			標準に戻す(N)
			拡大する(L)
			拡大率の指定(U)...
			グリッドを表示(G)
			実寸表示(H)

変形(I)	色(C)	ヘルプ(H)
反転と回転(E)...		
伸縮と傾き(S)...		
色の反転(I)		
キャンパスの色とサイズ(A)...		
すべてクリア(O)		
✓ 背景色を不透明にする(D)		

色(C)	ヘルプ(H)
色の編集(E)...	

ヘルプ(H)
トピックの検索(H)
バージョン情報(A)

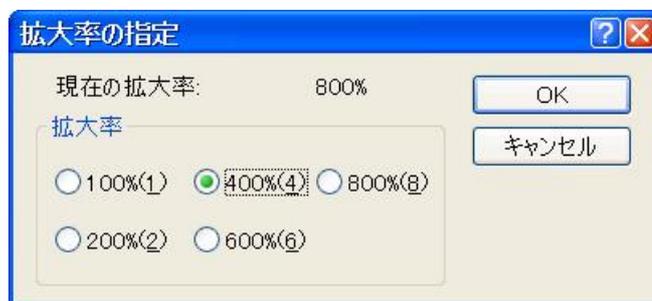
ここにあるショートカット キーのうち、頻繁に使うであろうショートカット キーは、是非、覚えてください。特に、[編集]メニューにあるショートカット キーは、Windows 共通のものが多く、覚え得です。

画像編集ソフトを使用する時は、「右手はマウス」「左手でショートカットキー」を使うと「ん？ お主使えるなッ!!」という感じです。

◆ 拡大する

[表示]→[拡大]→[拡大率の指定]

拡大率を8倍まで指定できます。  
細かい作業をする時に便利です。



◆ ドット単位の縦横ます目を表示する

[表示]→[拡大]→[グリッドを表示]

4倍以上の拡大を行なうと、[グリッドを表示]が使えるようになります。

実際には、8倍に拡大してチェックを入れると、1ドットごとの編集が楽になります。

◆ 実寸表示

[表示]→[拡大]→[実寸表示]

拡大すると、全体像がつかみ難くなります。そのような場合、[実寸表示]にチェックをいれると、全体像を見ながら編集ができます。

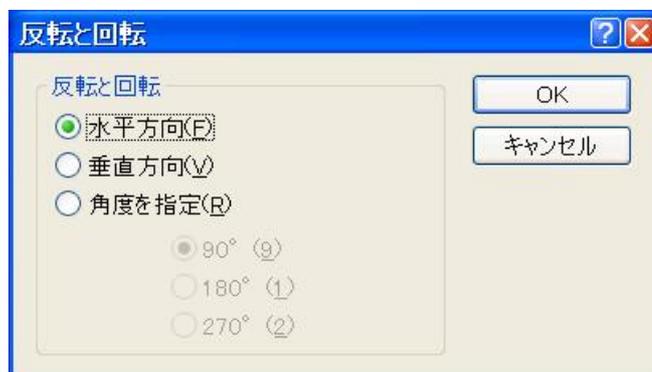
◆ 反転または回転させる

[変形]→[反転と回転]

- ・ 左右を入れ替える
- ・ 上下を入れ替える
- ・ 90° 回転させる

ことができます。

予め選択しておく、その部分のみが対象になります。

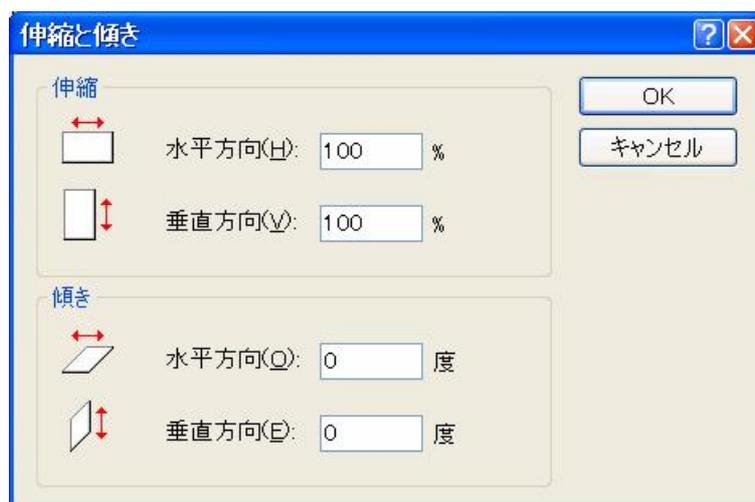


◆ 縮小または変形させる

[変形]→[伸縮と傾き]

右図のように変形させます。

予め選択しておく、その部分のみが対象になります。



伸縮はキャンパス全体を選択して、リサイズハンドルをドラッグする方法でも行なえますが、縦/横比を固定できません。ここでは、水平方向の%値と垂直方向の%値を同じ値にすることで行なうことができます。

ペイントの伸縮は、(たぶん)機械的に行われますので、市販の画像編集ソフトに比べると、画質が劣化します。

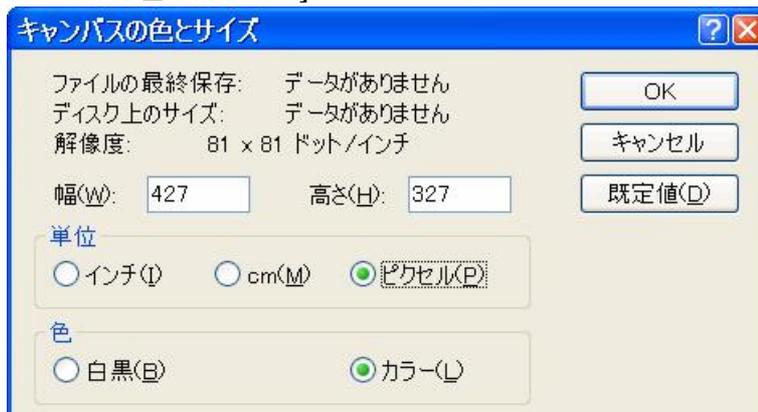
### ◆ 色を反転させる

[変形]→[色の反転]

例えば、白を黒にします。予め選択しておくで、その部分のみが対象になります。

### ◆ キャンバスの大きさを変える

[変形]→[キャンバスの色とサイズ]



ここで、「幅」と「高さ」を半角数字で指定します。現在より小さくすると切り取られ、大きくすると背景色でキャンバスが広がります。

単位は、「ピクセル」がベターですが、印刷時の大きさを知りたいのであれば「cm」にするのもいいでしょう。

### ◆ キャンバスをクリアする

[変形]→[すべてクリア]

正しくは、「キャンバスを背景色で塗りつぶす」です。通常、背景色は白でしょうから、真っ白になります。

### ◆ 色を作る

[色]→[色の編集]→[色の作成]



独自の色を作るには

- ① カラーボックスで、別の色に変更する色をクリックします。
- ② [色]メニューの、[色の編集]をクリックします。
- ③ [色の作成] をクリックします。
- ④ 色の見本をクリックして、[色合い]および[鮮やかさ]の値を変更し、
- ⑤ 色の明暗のスライダをドラッグして、[明るさ]の値を変更します。
- ⑥ [色の追加]をクリックします。

参考) 色は、光の三原色(赤 Red、緑 Green、青 Blue これをRGB と呼びます)のコードを0~255の範囲で指定して作ることが出来ます。純色は次のようになります。

色	赤コード	緑コード	青コード
黒	0	0	0
赤	255	0	0
緑	0	255	0
青	0	0	255
黄	255	255	0
紫	255	0	255
水	0	255	255
白	255	255	255

- ü 色の種類は、 $255 \times 255 \times 255 = 16,581,375$ 、約1,600万色です。
- ü 黒の反転色は白色、赤の反転色は水色になります。

## ■ 具体例

### ◆ デスクトップのアイコンを切り出す

マイコンピュータのアイコンを切り出す例です。デスクトップの背景が単色でないとう間が掛かります。

- ① デスクトップを表示します。
- ② [Print Screen]キーを押します。

以上の操作で、デスクトップの画像がクリップボードにコピーされます。

- ③ ペイントを起動します。(起動してある時は、アクティブにする)
- ④ クリップボードを貼り付けます。
- ⑤ [Esc]キーを押し、選択を解除します。

画像が大きいので、必要な部分のみ切り取ります。

- ⑥ [選択]ツールをクリックし、
- ⑦ マイコンピュータのアイコンを大きめに選択します。
- ⑧ クリップボードにコピーします。
- ⑨ [ファイル]メニューの[新規作成]をクリックします。
- ⑩ [いいえ]をクリックします...変更は保存しません。
- ⑪ クリップボードを貼り付け、
- ⑫ [Esc]キーを押し、選択を解除します。

背景色を白色にする前に、文字を黒色にします。

- ⑬ カラーボックスの前景色を白色、背景色を黒色にします。
- ⑭ [消しゴム]ツールをクリックし、
- ⑮ 文字“マイコンピュータ”を右ボタンで消します。(カラー消しゴム)

文字“マイコンピュータ”の背景色を白色にします。

- ⑯ [色の選択]ツールをクリックし、
- ⑰ アイコンの背景色をクリックします。  
→これにより、アイコンの背景色がカラーボックスの前景色になります。
- ⑱ カラーボックスの背景色を白色にします。

- ⑲ [消しゴム]ツールをクリックし、
- ⑳ 文字“マイコンピュータ”を右ボタンで消します。(カラー消しゴム)

消し残りの背景色は、白色で塗りつぶします。

- ㉑ [塗りつぶし]ツールをクリックします。

⑳ 消し残りの背景色を右クリックします。  
∵カラーボックスの背景色が白色になっているため。  
必要最低限の大きさにします。

㉑ [拡大と縮小]ツールをクリックし、  
→作業し易くするために、4倍に拡大します。

㉒ キャンバスをクリックします。

㉓ [Ctrl]+[A] (全て選択します)

㉔ 左上にドラッグします。(上と左側のトリミング)

㉕ 左辺のリサイズハンドルをドラッグして、左側をトリミングします。

㉖ 下辺のリサイズハンドルをドラッグして、下をトリミングします。

㉗ [拡大と縮小]ツールをクリックし、

㉘ キャンバスをクリックします。

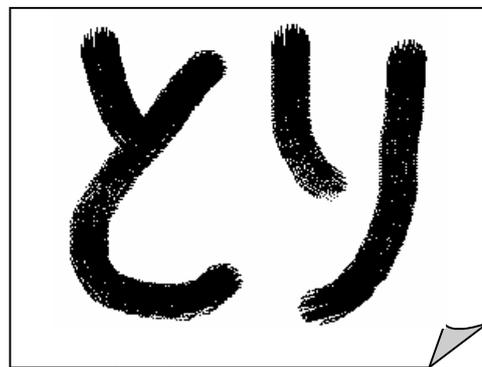
## ◆ 一筆書き

右図のような字を描きます。

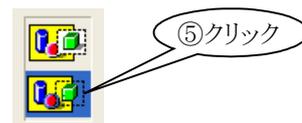
- ① [エアブラシ]ツールをクリックし、
- ② 選択ボックスの「大」をクリックします。



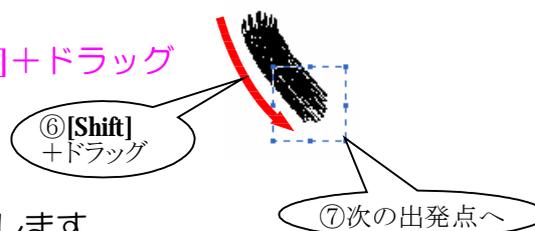
- ③ キャンバスの出発点付近をクリックし、
- ④ 囲むように選択します。



- ⑤ 選択ボックスの「背景が透明」をクリックします。



- ⑥ 選択部分を書き順の方向へ [Shift]+ドラッグ します。



- ⑦ 選択部分を次の出発点へドラッグします。

- ⑧ “と” を完成させるように選択部分を [Shift]+ドラッグ します。

以下、同じ手順で“り”を描きます。